

田原市国際化・多文化共生推進計画（案）パブリックコメント
提出された意見と市の考え方

■ 計画の内容に関する意見

NO.	該当 ページ	提出された意見	市の考え方
1	18 20 25	<p>多言語教室（多言語ひろば）を提案します。</p> <p>① それぞれの国の人達が相互に学びあう場</p> <p>② 皆が主役になって作る場</p> <p>③ 各国のキーパーソンの育成</p>	<p>① No.28 多文化共生PRイベントの開催 相互理解を図るための外国人住民と日本人住民が交流できるイベントを開催し、相互に学びあう機会を設けます。</p> <p>② No.10 外国人交流会の開催 外国人住民が主体となって開催する外国人のための交流会を開催します。</p> <p>③ No.16 管理団体等やキーパーソンのネットワーク化、意識調査の実施 各国のキーパーソンをネットワーク化し、さまざまな情報を提供します。</p> <p>このように、3つの事業によってご提案いただいた多言語教室の目的を果たします。</p>

■ その他（計画に反映せず参考として取扱う意見）

NO.	該当 ページ	提出された意見	市の考え方
1	24 25	<p>① コーディネーターとして市民館職員の活用を明示</p> <p>② コーディネーター機能（問題の緩和、双方の住民の人間関係をつなぐ）の明示</p> <p>③ これら業務の評価方法の明示という3点の追加を提案します。</p>	<p>各地域で多文化共生への理解ある人材を育成していくことは、重要であると考えております。</p> <p>しかしながら、現状では市民館主事の業務は多岐に渡っており、外国人問題専門のコーディネーターとして育成することは難しい状況です。</p> <p>本計画では、まずは、地域コミュニティ連合会と協力し、各地域における外国人住民の居住状況や問題点の把握を行います。その状況を踏まえた上で、外国人住民と日本人住民が協働して取り組む講座等を実施し、地域での多文化共生の理解を深める取組を進める考えです。また、これらの事業は、校区会長や市民館主事にも協力してもらいながら進めることで、地域コミュニティ活動の核となる人材にも多文化共生への理解が深まることを狙います。</p> <p>ご提示いただいた意見や先進事例を参考にさせていただきながら、これらの取組を進めてまいります。</p>